



ため池みらい研究所

学生が入ること地域はどう変わる？ -ため池ウォーキングを通して-

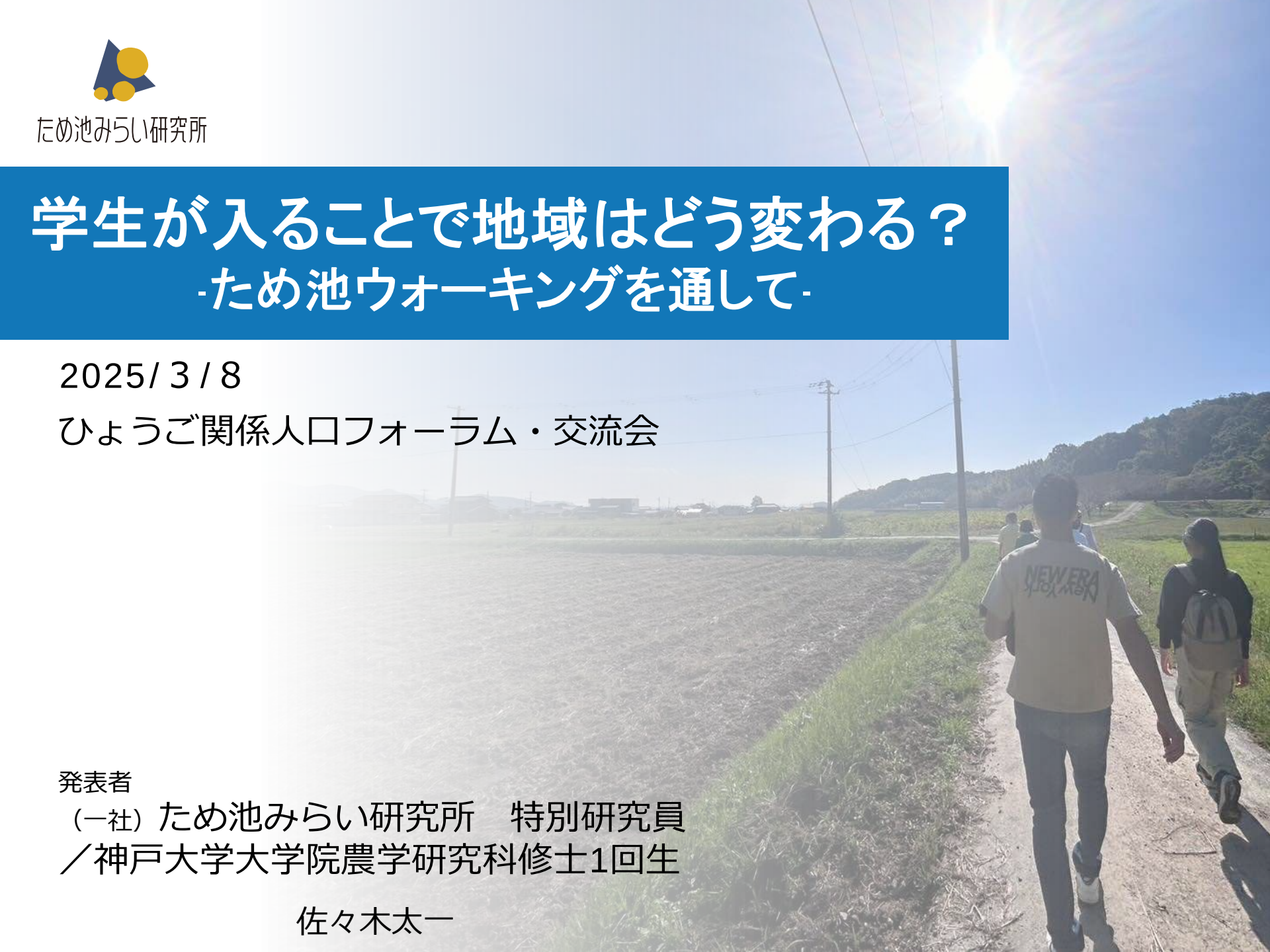
2025/3/8

ひょうご関係人口フォーラム・交流会

発表者

(一社) ため池みらい研究所 特別研究員
／神戸大学大学院農学研究科修士1回生

佐々木太一

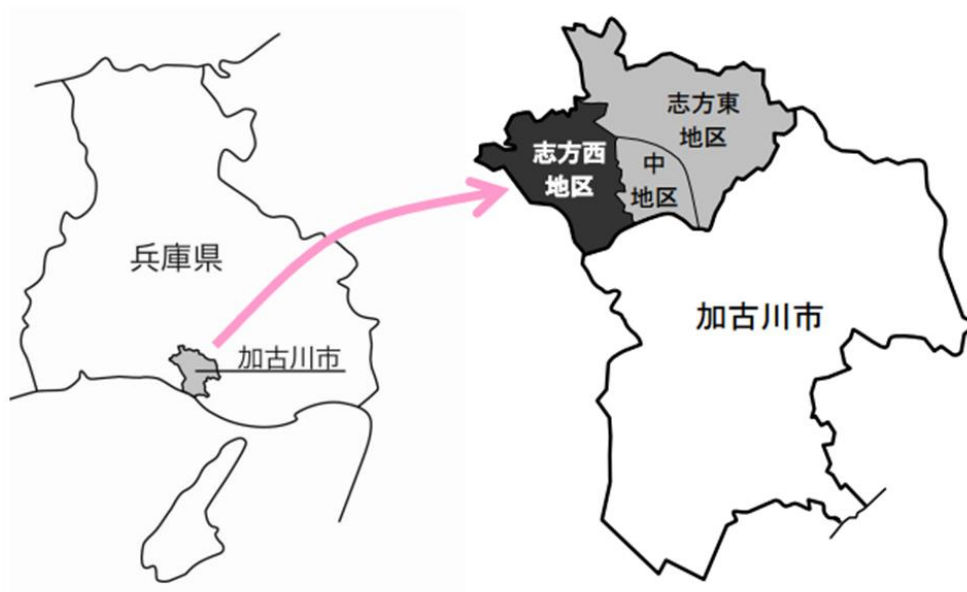


志方西地区とは



ため池みらい研究所

- 加古川市の北西部に位置
- 高御位山（標高304m）の麓に位置
- 7つの集落からなる

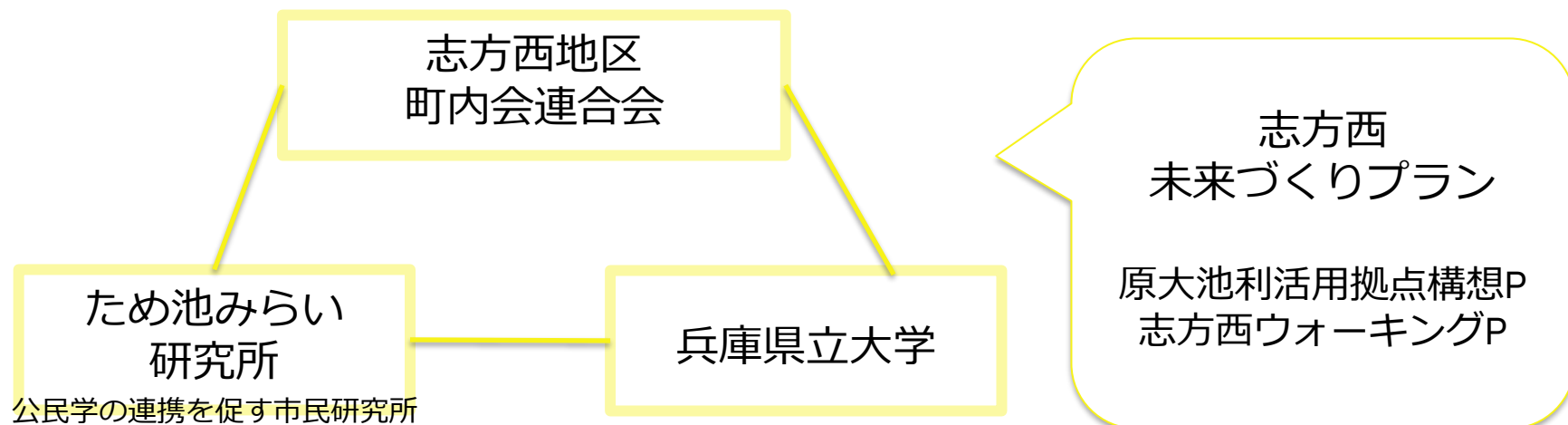


資料) いなみ野ため池ミュージアム「志方西地区ってどんなところ？」より引用

絆プロジェクト連携主体



ため池みらい研究所



【絆プロジェクト（ため池アクション！）】

農業・農村が抱える課題に関するプロジェクトを学生3人程のチーム，地域住民，コーディネーター（ため池みらい研究所）と実施。

参加学生数	2023年度 3名
	2024年度 4名



志方西ウォーキングプロジェクト



ため池みらい研究所

趣旨：

- 自然豊かな地域の営みを地区外の人達が再発見や知ることによって住民の定着や関係人口の増加に繋がります
- 地域の人達がウォーキングすることで、志方西地区のことを深く知り、シビックプライド（地域への誇りと愛着）を醸成します

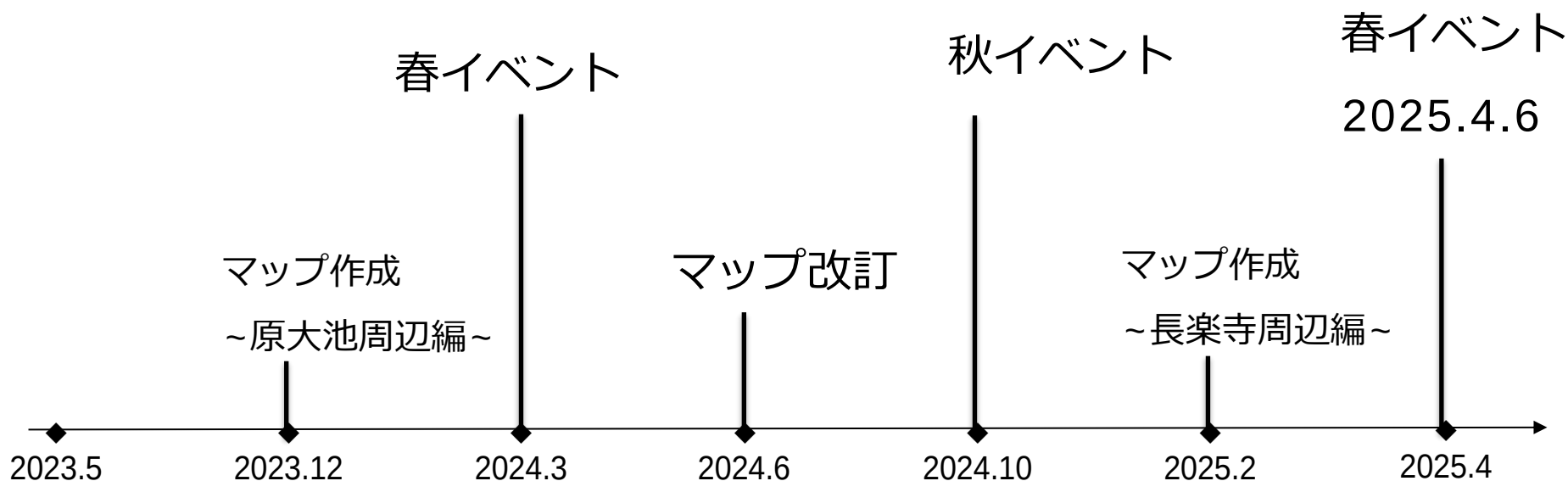
志方西未来づくりプランより引用



活動内容



ため池みらい研究所



受け入れ地域の変化



ため池みらい研究所

【個人（地域リーダー）の変化】

- ・活動継続のために、前向きに頑張れるように
- ・地域側から発信することへの関心の高まり

【地域のムードの変化】

- ・地域活動に関わる地域住民の姿勢も前向き・積極的に

【地域・個人の行動の変化】

- ・学生を地域の活動に誘う住民が徐々に増加
→関係人口としての学生



コーディネートで悩んだこと

「イベントを行うためのみ」の活動にならないために
～関係人口って??～

→どういう人が関係人口だと思うか意見調整
(学生のための会議・プロジェクトメンバーを交えた会議)

→志方西にとって関係人口とは

- ・神輿の担ぎ手
- ・地域活動（ウォーキングPなど）の担い手

を目指して活動をする



2年間の活動を通して・・・

地域　　：ムードの変化がみられてきている

関係人口：まずは志方西を知ってもらう取組はできた

学生　　：地域活動への参加がしやすい環境に

今後・・・

関係人口の創出に向けて、マップの次の一手としての活動をおこなっていききたい

考えること・・・

どういう活動をすれば、外部の人が志方西での関係人口（神輿の担ぎ手）になってもらえるか

SNS・HPご確認ください



ため池みらい研究所

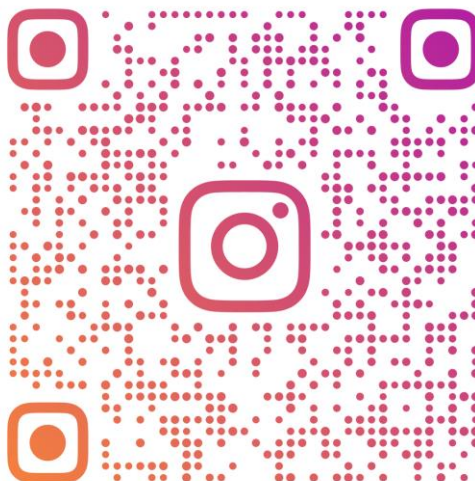
志方西
ウォーキング
プロジェクト



名称 一般社団法人ため池みらい研究所
設立日 2021年9月15日
社員数 7名（設立時）
代表理事 星野 敏 / 京都大学大学院 農学研究科 名誉教授
会員 14名



ため池みらい研究所



facebook

